

2017年12月3日（日）午後、70人の皆さまのご参加を得て、大津市園城寺町の三井寺で、恒例になりました「びわ湖トラストの集い」を開催しました。当日は穏やかな日差しが注ぐ「びわ湖トラスト日和」！ 早めにお越しになって三井寺境内を散策したり、お詣りをする方たちもいらっしゃいました。



### 自由自在のドローンの目で見たびわ湖の姿に感嘆

午後1時50分、岩坪副理事長の挨拶で開会。続いて熊谷事務局長からびわ湖とびわ湖トラストの近況報告があり、午後2時、講演会開始。

今年は、長浜を拠点にドローンやロボット関連の事業を展開、加えて滋賀ドローン協会事務局長でもある株式会社プロクルー代表取締役の松本茂之さんのお話をうかがいました。



「ロボット戦略のフロントランナーであるドローンの現状」のテーマで講演いただいた松本茂之氏



ドローンが写したびわ湖、北湖の姿。湖面の向こうは湖北菅浦への道

もちろンドローンが写してくれたびわ湖の映像を見ながら！ 松本さまのお話ともども、ドローンの鋭敏な角度、視線をフルに発揮して写した美しいびわ湖を堪能させていただきました。

人間では難しい場所にもアプローチできるドローンの自由自在の目を見た我らのびわ湖。すっかり魅了され、この素晴らしい湖を永く伝えていかねば、と、気持ちを新たにいたしました。

松本さま、素晴らしいびわ湖を、ありがとうございました。



### 千載一遇のチャンス！ 国宝建造物修理の工事現場見学

講演のあと、福家俊彦理事（三井寺執事長）の案内で、国宝勸学院客殿の屋根の改修工事現場を見学しました。偶々、この時期に工事が行われていたため、実現した「国宝の工事現場見学」。その昔、職人たちが日本の技を駆使して造り、時を大事にすこし伝えられてきた国宝建築物の修理など、滅多に見ることなどできないのですが、



その機会に遭遇できた幸運を喜ぶ方たちから、たくさん感動の声をいただきました。

三井寺さま、貴重なチャンスをありがとうございました。

講演会パートIIは国宝三井寺勸学院の屋根修理工事現場を見学しました



### 近江の食・酒にこだわり、絶品宗五郎そばを楽しむ交流会

見学が終わって、再び、講堂に帰ってきて、16時から楽しみの交流会開始。山本宗五郎理事の宗五郎蕎麦は既に、大きな釜で湯が煮え立ち、いつでも蕎麦が湯がける状態に！ この湯がきたてそばを目当てに「集い」に来て下さる方もあるほど（びわ湖の応援も「たのんまっせ！」、なのですが…）人気の蕎麦です。



今年も三井寺寺務所2階の講堂が「集い」の会場。清々しい空間での楽しいひと時でした



会場入り口では山本宗五郎理事が直々に湯がく宗五郎蕎麦の準備も万端！

会場では氏家副理事長の挨拶と乾杯の音頭で交流会開始。乾杯もいつも通り滋賀の地酒で乾杯。今年の乾杯のお酒は大津市の「浅茅生」。乾杯のあとはお好みのお酒を楽しんでいただきました。今年は湖北の「七本槍」、水口の「神開」、堅田の「波乃音」、そして「浅茅生」の4種類のお酒を用意。



交流会は近江の味覚を楽しんでいただきました（えび豆・鹿肉の山椒煮・赤こんにゃく・鮎の甘露煮）



近江の味覚（しし肉の唐揚げ・うぐいのなれずし・コゴミの辛子和え）

「近江の食」は山の幸を朽木の山菜じゅうべえさん、湖の幸を安曇川の鮎池元吉本さん、湖北の郷土食・焼き鯖そうめんを朽木の丸八百貨店さん、赤こんにゃくは近江八幡の乃利松さんのものを用意しました。



湖の幸を用意してくださった鮎池元の吉本さん、会場でコアユの天麩羅をあげていただきました



吉本さんが揚げたコアユの天麩羅。熱々をいただきました

近江の美味をご用意くださいました皆さま、ありがとうございました。



17:00 「琵琶湖周航の歌」を手をつなぎ輪をつくって、大合唱



最後はやっぱり「琵琶湖周航の歌」。昨年は歌ができて100年。参加者一同、輪になって歌いました

2017年は「琵琶湖周航の歌」が誕生してちょうど100年。この先150年、200年…と、歌い継がれていくことと思います。同じようにびわ湖への思いも、100年200年、繋げていきたいと思っています。最後に小川隆理事の閉会の挨拶で「2017年びわ湖トラストの集い」終了しました。

ご参加の皆さま、ありがとうございました。

来年は「認定NPOびわ湖トラスト」が誕生して10年の節目になります。来し方の10年を振り返り、これからの10年を考える「10周年記念行事」を予定しています。楽しみにお待ちください。

(報告 西本柳枝)